

## ◆戸別収集・有料化全市実施説明会 Q&A

平成 25 年 6 月 28 日 (金) 午後 6 時半から午後 8 時 福祉センター

参加者 60 名

- 1 市長からごみの現状について
- 2 戸別収集・有料化説明 DVD 上映
- 3 環境部長からモデル事業についての概要説明
- 4 質疑応答

**Q 商店街と住宅地とではごみの出し方が違うのでは。別の地域でのモデル事業は考えていますか。**

A 今回のモデル地区で、山ノ内は商店街があります。商店街の小規模な事業者はどう対応していくのか、新たな制度を作ることを考えています。別の地域でのモデル事業は考えていません。

**Q 戸別収集の推計コストの算出根拠はなんですか。**

A 必要な収集車両と、それに伴う人件費が主な内容です。

**Q 推計コストの 24 年度版はありますか。**

A 決算値による集計であり、決算が平成 23 年度までしか出ていないため、24 年度版はまだ作成しておりません。

**Q 質問シートは後日提出でよいですか。個人宛てに回答が来ますか。**

A 後日提出でもかまいません。個人宛てに回答が必要な場合は、その旨ご記入ください。

**Q 観光客や事業者に対する広報はきちんと行っていますか。**

A 観光客にもアナウンスをしていく予定ですし、事業者の方々にも商工会議所の協力を得ながら広報を行っていく予定です。

**Q 道路にごみを出さないでほしいとあったが、商店街等では建物のすぐ外が道路なので、どこに出せばよいのでしょうか。**

A 基本は、道路と敷地の境界線に出していただきます。難しい事案については、個々にご相談ください。

**Q クリーンステーションでの収集が無料というのは、理由がありますか。**

A 有料化するものはごみで、無料のものは資源物です。

**Q 戸別収集で排出者が明確になるとのことですが、観光客が不法にごみを入れていたらどうするのでしょうか。**

A 連絡をいただいた箇所について、見回り等を強化する方針です。

**Q 戸別収集は、防犯上問題があるのではないのでしょうか。クリーンステーション収集と選択制にはなりませんか。**

A クリーンステーションでの管理がきちんとできている地域については、そういったご意見もいただいておりますので、今後、検討させていただきます。

**Q 集合住宅について、戸別収集場所を新たに作ったら、そちらにすべての品目を排出できるよう、今後変更していただけますか。検討してください。(回答不要)**

**Q 市の予算の見直しとあわせて、財政のスリム化を図っていただきたい。観光客が多いため、市民だけでの対応では、焼却ごみ 8,000 トンの削減は無理ではないでしょうか。**

A 戸別収集・有料化以外でも、事業者への分別指導の徹底、生ごみ処理機の推進等、様々な施策を行っていく予定です。

**Q 危険・有害ごみと、燃えないごみは、どう区別したらいいのでしょうか。**

A 現在もパンフレット等でお知らせしていますが、全市実施の際には改めてお知らせをしていく予定です。

**Q 西鎌倉は、約 1,400 世帯ありますが、昨年アンケートを行ったところ、85%が現行のクリーンステーション収集でよいという結果が出ました。戸別収集になると、住民のコミュニティが崩れるのではないかと懸念しています。**

A クリーンステーションでの管理がきちんとできている地域については同様なご意見をいただいています。

ご意見として伺い、今後の検討とさせていただきます。

**Q 以前計画していた時よりも、バイオ施設建設の技術は進歩しているのではないのでしょうか。市長が変わると施策もまた変わるのですか。**

A 戸別収集・有料化は、政治問題ではないと考えています。誰が市長になっても、避けては通れない問題だと考えています。代替案があれば検討したいと思いますが、確実にごみを減らせる方法としては、これ以外見つかっておりません。危機的状況を乗り切っていくためにも、戸別収集・有料化は避けては通れないと考えています。

**Q 市外から通っている職員が 6 割いると聞いています。残業代や通勤手当の出費も多いと思います。それならば、市の職員が有料化のための基金を作ることを提案します。有料化を避けるためにも努力して欲しい。**

A 基金についてのご提案は、有効かどうか、受け止めさせていただきます。職員の住居手当を市内・市外で差をつける施策を市長になってから行いました。職員の市内在住者の増加については、急な改善は難しいですが、採用の際にはできるだけ考慮したいと考えています。

**Q 戸別収集により、10 億円の市民負担がかかるというチラシが入っていました。歳入と歳出を差し引くと 7,000 万円の持ち出しという根拠はありますか。**

A 算出根拠はある数字です。

**Q 有料化によってどれくらいごみが減るかわかっていないし、1 リットル 2 円の算出根拠がわかりません。**

A 国の方では、1 リットル 2 円の有料袋で、平均 22%のごみが減るというデータがあります。藤沢市では、有料化を行い、18.7%の減量に成功しました。確かに、鎌倉市ではどの程度減量となるかは実施してみないとわからないところではあります。1 リットル 2 円は、審議会でのご審議を経てものです。

**Q 名越クリーンセンターは、あとどのくらい使用できるのですか。**

A 今年と来年の延命化工事を行うことで、10 年程度の焼却を考えています。

**Q 10 年先はどうなりますか。**

A 新焼却炉に関する基本構想を策定し、これから基本計画を策定していく中で、どこにどのようなものを建設するのか、きちんとした計画を立てていこうと考えています。

**Q 戸別収集は、業者委託をしますのですか。入札になるのですか。**

A 現在も、市の職員と民間委託をあわせて行っているが、戸別収集でプラスになる作業は民間で対応をしていきます。収集がとどこおりなく行われるような方法を考えています。

